

令和4年6月27日

各バドミントン連盟理事長殿

大分県バドミントン協会  
会長 佐藤英雄  
(公印省略)

### 熱中症・事故防止等について(通知)

標記のことについて、スポーツ庁健康スポーツ課長から別紙写しのとおり通知がありました。

つきましては、下記事項に十分留意して、事故防止に向けた組織的な取り組みを講じられるよう、貴連盟から関係者へ指導して頂くようお願いいたします。

#### 1 スポーツ活動

- ・活動中はこまめに休憩・水分を取り、状況によって練習の時間や回数、強度を段階的に下げるなど、熱中症を含む活動中の怪我・事故等の防止に十分留意すること。

#### 2 熱中症の予防

##### ① 健康観察

##### ② 水分及び塩分の補給（活動前、活動中、活動後）

- ・水分や塩分の補給ができる環境の整備（スポーツドリンク、経口補水液）

##### ③ 休養等

- ・気温及び湿度の状況による活動内容や時間の見直し
- ・適切な休養の確保（例：30分に1回など）

#### 3 熱中症の症状

##### ① めまい、失神、筋肉痛、筋肉の硬直、手足のしびれ、気分の不快

##### ② 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感

##### ③ 意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温、肝機能障害、腎機能障害、血液凝固障害

※②、③は救急搬送（出典：環境省 熱中症環境保健マニュアル 2022）

#### 4 熱中症事故の留意点

- ・対象者に既往症もなく、体調不良もない状態で屋内・屋外、運動中や運動以外を問わず上記①の症状が見られる場合は、まず、熱中症を疑い早期に水分・塩分補給、体温の冷却、病院への搬送等適切な処置を行う。
- ・病院への搬送が必要な場合は、迅速に救急車を手配するとともに、関係者へ速やかに報告すること。

#### 5 新型コロナウイルス感染症に関する留意点 ・活動前の検温、手洗い、手指の消毒、咳エチケット、うがい等、基本的な感染防止対策を徹底すること。

- ・各中央競技団体が示す感染防止ガイドラインに従うこと。

- ・活動時のマスク等の着用は原則必要ない(競技別ガイドラインによる)。

活動時以外の場面ではマスクの着用が望ましいが、夏季の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高まることから、熱中症への対応を優先させること。